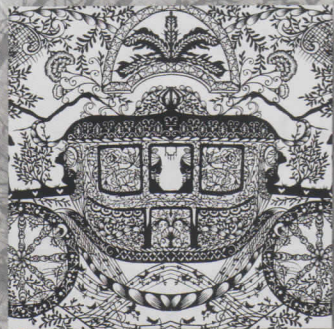


日本初！
世界を代表する「KIRIE」作家の作品を一堂に展示。

蒼山日菜プロデュース

KIRIE
OF THE WORLD
IN JAPAN 2011
Hina Aoyama Produce

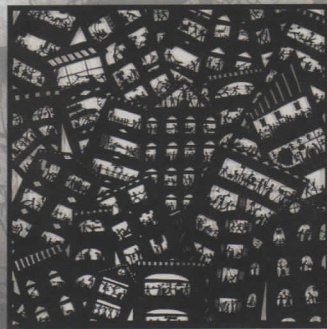
世界の切り絵展



Aoyama Hina



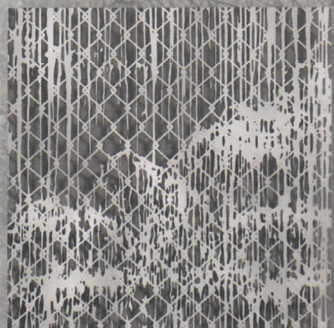
Tatsumi Masaaki



Béatrice Coron



Tim Budden



Bovey Lee



Andrea Dezsö



Patrick Gannon



Réhane Favereau



Pray for japan

がんばろうニッポン

世界の作家みんなで支援の気持ちを持って
この展示会に取り組んでいます。
切り絵作家によるチャリティーグッズの販売を通し
東日本大震災被災地復興を支援します。

2011年7月9日(土) ▶ 9月25日(日)

- 開館時間：午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館30分前まで
- 休館日：毎週水曜日 ※ただし水曜日が祝日の場合は翌日。
- 入館料：企画展／一般・700円 小、中学生・300円
常設展／一般・300円 小、中学生・100円

- 主催：合同会社 富士川・切り絵の森
- 共催：山梨日日新聞社・山梨放送
- 後援：山梨県、市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町、NHK甲府放送局、テレビ山梨(株)
読売新聞甲府支局、朝日新聞甲府総局、産経新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局、日本経済新聞甲府支局



マップQRコード



富士川クラフトパーク内

富士川・切り絵の森美術館
FUJIKAWA KIRIE ART MUSEUM



蒼山日菜プロデュース
KIRIE
OF THE WORLD
IN JAPAN 2011
 Hina Aoyama Produce
世界の切り絵展

F U J I K A W A K I R I E A R T M U S E U M



Aoyama Hina 蒼山日菜

神奈川県出身。フランス在住。2000年に趣味として切り絵を始める。05年、初めての個展で自分の作品に感動してくれた方を見てプロ転向を決意。以降、数々のコンクールに作品を出展し入賞を果たす。2008年6月、スイスのシャルメ・トリエンナーレでアジア人として初めてグランプリに輝く。ほか海外での受賞多数。2009Newsweek誌の「世界が尊敬する日本人100人」に選出。ジュネーブにほど近いジュラ山脈大自然の中で、日々新たな作品作りに挑戦している。「切り絵の魅力を知ってほしい」と切り絵教室も開催している。



Bovey Lee ボビー・リー

香港出身。米国ピッツバーグ在住。10才から中国のカリグラフィーを習う。カリフォルニア大学バークレイ校に留学。油絵を学び1995年MFA（美術学修士）取得。ピッツバーグに移り、プラットInstituteでデジタルアートを学ぶ。そしてまったく異質の伝統的なペーパーカットが融合した独自の作品の制作を始める。ボビー・リーの切り絵作品のテーマは「権力」「生存」「犠牲」。作品は高度に複合的で繊細だ。それらの作品は中国の紙1枚をX-Actoナイフによるハンドカットで作られる。ボラック・クラスナー基金グラント、ペンシルバニア芸術協会、ビラヘイス基礎基金フェローシップ、ルースアンドハロルド・チェヴェン基金賞、その他多くの賞を受賞。



Andrea Dezső アンドレア・デジョー

ルーマニア出身。米国ニューヨーク在住。ルーマニア、トランシルバニア地方にて幼少期を過ごす。現在、ビジュアルアーティストとして活躍しながら、また執筆活動も手がける。絵画をはじめ繊細で緻密な彼女独自の本の制作、複雑に多重に重なる切り絵、刺繍、造形、インスタレーション、アニメーション、そして大規模な壁画など活動は幅広い。作品テーマは、精神、歴史、また、人の心の奥深くにあるイメージ。自身が共産政権下で育った中での思い出なども深く結ばれている。大人になると忘れてしまう誰もが子どものころに一度は経験したことのある神秘的な体験の中に美しさを見出し制作することを目指している。現在NYのパーソンズ・スクール・オブ・デザインにて講師を務める。



Patrick Gannon パトリック・ギャノン

米国ニュージャージー州出身。東京都在住。作品は、和紙をカッターで切り、複数のレイヤーに貼り合わせて制作。ギリシャ神話や日本の寓話の登場人物や動物をテーマに自然への愛と畏敬の念を表現。彼の奇想的で奔放な作品の基となっているのは、ニュージャージーで動物と自然に囲まれて育った子どもの頃の体験、カレッジで学んだ折りの文学作品に登場した神話や寓話の世界。そして日本で暮らし、それらの体験の中の要素が幾層にもミックスされ現代の新しい神話を生み出している。



Réthane Favereau レアヌ・ファウロ

フランス出身。スイス在住。2008年まで教師。祖父母が農民だったこともありナイフペインティングに興味をもつ。ペーパーカットによる作品は1997年が最初。地元のクリスマスマーケットで出した作品が話題に。以来様々な展覧会に出品し評価が高まっていく。2007年、スイスヨタ40周年記念に際しCEO、副首相、日本の訪問客に贈るために富士山とマッターホルンが並ぶ合った切り絵を制作。美術館での展示も数多く、またパーキンソン病患者支援の為にポストカード原画を提供したりと社会的活動にも積極的に参加。一枚の紙だけを使い、カッターと拡大鏡を使って切り出される。



Tatsumi Masaaki 辰巳雅章

奈良県吉野出身。横浜市在住。71年「アルスデザイン社」に入社、テキスタイルデザイン及び型染めの着色染色に従事。76年、着物染色家として独立。83年、型絵染めの技術を生かして、きり絵作家に転向。以後、多数の個展・グループ展を主催。主に、万葉集、日本の昔話、日本の謡、風景、世界の童話、スペインの風景を題材とする。「絵本 万葉集・恋の歌」など出版物多数。横浜開港150周年記念「横浜いろはかるた」制作。港横浜きり絵協会設立・代表。



Béatrice Coron ベアトリス・コロン

フランス出身。米国ニューヨーク在住。エコール・デ・ボザールのリヨン校で芸術を学び、リヨン第三大学で中国語を学ぶ。その後様々な職につきNY市のツアーガイドとしても働く。仏、エジプト、メキシコ、中国に住んだ体験で多種多様な文化に触れ、現実への視野と物語への好奇心を高めるきっかけとなる。人間と空間がどういった関係なのか、属性とは何なのか。片言は話すができても完璧に喋ることができない言語の国に生活し、コロンは切り絵を使い何層もの物語を創り、そこから様々な解釈が生まれる言語を生み出した。コロンの作品は、イラスト、美術、公共芸術まで、幅広く、公共芸術は、金属、石、ガラスなどが用いられる。メトロポリタンミュージアム、ウォーカーアートセンター、グティなどの美術館で所蔵。公共芸術は地下鉄、空港、スポーツ施設などで見ることができる。



Tim Budden ティム・ブッデン

イギリス出身。台湾在住。中国の伝統芸術に興味があり台湾を訪れたティムは当初はあまり触発されず創作意欲も起きなかった。しかしある時女性の手仕事である伝統的な切り絵に出会う。彫刻を行っていたブッデンはたちまちこの紙の彫刻にのめり込んでいくことになる。使用素材は紙とシルク。実際に台湾に住むことで、西洋文化と台湾（中国）文化が摩擦を起こし彼の中で結合。その結果多彩なイメージーションが湧きおこり作品となっていく。

2011年7月9日(土) ▶ 9月25日(日)

交通のご案内

□お車でのお越しの場合

- 東京・長野方面からは
 - ・中部横断道増穂IC下車。R52を静岡方面へ約18km。身延町下山「上沢交差点」を右折。
- 関西方面からは
 - ・東名高速道路清水IC下車R52を甲府方面に約58km

□JRでお越しの場合

- 東京・長野方面からは
 - ・JR甲府駅にてJR身延線に乗換。下部温泉駅下車、タクシー利用2.5km
- 関西方面からは
 - ・新幹線静岡駅にてJR身延線接続の「特急ワイドビューふじかわ」に乗換。下部温泉駅下車、タクシー利用2.5km

富士川クラフトパーク内
富士川・切り絵の森美術館
 FUJIKAWA KIRIE ART MUSEUM

〒409-2522 山梨県南巨摩郡身延町下山1597
 TEL 0556-62-4500・0556-62-4111 FAX 0556-62-4115
 URL : <http://www.kirienomori.jp/> E-Mail : info@kirienomori.jp

